



学校だより 逢う地

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

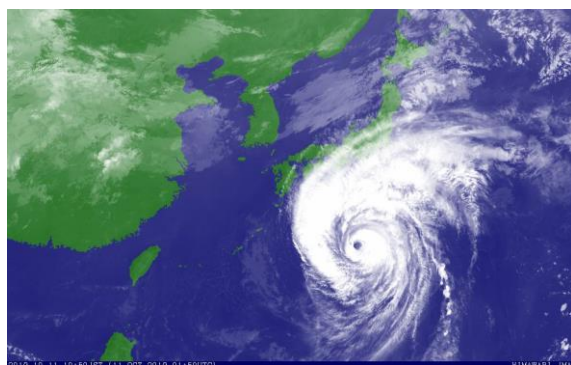
お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

唐津市立相知中学校

R元. 10. 18. 第 15号 文責：江川俊之

深刻な環境問題

先週末台風19号が猛威を振るい各地に甚大な被害をもたらしました。遠く離れた北部九州でも風が強く離島の船便は欠航となりました。被災された多くの方にお見舞いを申し上げ、1日も早い復興を祈念します。進路が少しでも違っていたら、決して他人事ではありませんでした。8月末には県内でも大きな被害が出たところです。前回も触れましたが、明らかに異常な状況です。地球温暖化が確実に進行しています。



現在、地球の平均気温は14℃前後ですが、もし大気中に水蒸気、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスがなければ、マイナス19℃くらいになります。太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めているからです。近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

ある報告書によると、1880～2012年の間に世界平均気温は0.85℃上昇しています。特に過去50年の気温の上昇は、自然の変動ではなく、人類が引き起こしたものと考えられます。今後、温室効果ガス濃度がさらに上昇し続けると、気温はさらに上昇すると予測されています。2100年末には温室効果ガスの排出量が最も少なく抑えられた場合でも0.3～1.7℃の上昇、最も多い最悪の場合は最大4.8℃の上昇と予測されています。世界中の国、自治体、企業、家庭、個人でこの問題に真剣に取り組むことが必要です。

次の10項目の取り組みを行うと日本全体の温室効果ガス排出量を2.8%削減できると言われています。

- ① 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する
 - ② 週2日往復8kmの車の運転をひかえる
 - ③ 1日5分間のアイドリングストップを行う
 - ④ 待機電力を90%削減する
 - ⑤ シャワーを1日1分家族全員が減らす
 - ⑥ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
 - ⑦ ジャーの保温を止める
 - ⑧ 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす
 - ⑨ 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ
 - ⑩ テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす
- …できることから意識したいですね。

ふれあい市長室

15日(火)唐津市峰達郎市長が相知市民センターに滞在し、本校中2代表と意見交換を行いました。事前に学年の意見を集約し、7項目の要望、意見交換を行いました。JRの増便、外灯の増設、相知図書館の改装、災害対策、特産物のPR、インターネットを利用した授業の導入(環境整備)、最後は学校給食に揚げパンなどのリクエストメニューを取り入れてほしいなど中学生らしい要望も出ました。予算を伴うものもあり、即答はなかなかありませんでしたが、中学生の意見に真摯に耳を傾けていただきました。中学生にとっても自分の住む地域の発展を考え、情報発信を行うよい機会となりました。最後に市長は、自らのテーマである「唐津PRIDE(プライド)～誇れるふるさと唐津の飛躍～」を紹介され、地域の将来を担う若者の今後の活躍に期待している思いを語られました。



温故知新～不滅の絆で築き上げる未来への道～

令和元年度第73回相知中学校文化発表会 10月27日(日)8:30～ 本校体育館にて
皆様お揃いの上、足をお運びください!! 本校生徒の不滅の絆を 乞うご期待

